



①七種山 39,500㎡

七種山は流紋岩からなり、山には金剛岩やつなぎ岩、大小合わせて48の滝などがあります。中でも、七種の滝は県下八景・県観光百選・近畿観光100景に選ばれています。四季折々に美しい姿を見せてくれる、県の名勝です。問い合わせ／福崎町観光協会




②コヤスノキ 群生

トベラ科の常緑性低木で、6月頃に黄色い花を咲かせます。七種山に自生地が見られますが、分布の北東限とされ、雌雄異株で、七種山ではどちらの株も見ることができます。




③石造地藏菩薩像 1軀

金剛城寺にある石仏で、三角形の板石の中央に地藏菩薩が刻まれています。左側下方に応永六年(1399)の紀年銘があり、町内で2番目に古い銘石仏です。




④應聖寺庭園 905㎡

本堂・書院の背山斜面を築山とし、山裾に細長い池をめぐらす池泉観賞式の庭です。宝永から元文年間(1704～1741)にかけて作庭された瑞光寺(多可郡多可町)の庭園と類似しており、この頃につくられたものと考えられています。庭園内拝観料500円(お茶菓子・抹茶付き) 問い合わせ／應聖寺




⑤神谷古墳 1基

一辺約20mで2段構築の方墳です。全長11mの横穴式石室で、7世紀前半につくられたと考えられています。町内で唯一の方墳であり、墳丘および石室の形を良好な状態でのこしています。問い合わせ／醫王寺




⑥獅子舞

高岡大年神社に奉納される獅子舞で、獅子・横笛・太鼓で構成されます。囃子と呼ばれる子どもたちが、刀や長刀等を持って踊ります。江戸時代後期からの歴史をもちますが、後継者の不足により約40年前に途絶えました。しかし、近年復活の取り組みがはじまり、平成23年の祭りに奉納されました。




⑦庚申塔 1基

石の正面に、青面金剛をあらわす種子と「庚申塔」という文字が刻まれています。千十の庚と十二支の申を組み合わせた暦法の60日ごとに巡ってくる庚申の日には、庚申待という信仰行事が行われます。




⑧固寧倉 1棟

江戸時代、姫路藩では飢饉や災害に備えて、米や麦などを蓄えた固寧倉が各地でつくられました。この固寧倉は、町内で唯一現存しているもので、福田の大蔵神社鳥居南の地にありましたが、明治20年頃、現在地に移築されました。




⑨阿弥陀堂 1棟

三間三面の宝形造の建物です。現在は鉄板で覆いをしていますが、本来は藁葺です。堂の中に阿弥陀如来をまつことから、阿弥陀堂といわれており、束や斗きょうの手法から、江戸時代の仏堂と考えられています。




⑩木造阿弥陀如来坐像 1軀

福田区の阿弥陀堂に安置されている仏像で、漆箔の寄木造の木像です。平丈六の像で堂々としたもので、像の底部には墨書銘があり、天正2年(1574)につくられたことが分かります。※非公開




⑪旧小國家住宅 4棟

江戸時代に庄屋を務め、幕末から明治にかけて活躍した、小國鐵十郎生家として知られます。また、地域医療に貢献した鉄十郎の孫である小國積治生家でもあります。平成19年に主屋、診療所、長屋門、塀の4件が福崎町で初めての国登録文化財になりました。※外観のみ見学可能




⑫法界萬霊塔 1基

法界とは、真理の世界、全宇宙のことで、萬霊とは、この世の中の一切の生きものごととされています。明暦3年(1657)の銘がみられるこの塔は、神崎郡内で最大にして最古の紀年銘を持つ萬霊塔です。




⑬妙法寺 梵鐘 1口

総高121cm、口径70cmの梵鐘です。銘文は、江戸時代の明暦2年(1656)に妙法寺の目録上人の依頼により、目録上人が誌したもので、文は弟子の元政上人が起草しました。梵鐘の鋳造者は京都金座の藤原国次で、金座の有力な鋳物師です。この梵鐘は、よく整った形姿と重厚な風格をそなえており、江戸時代における京風の典型的な和鐘の1つといえます。問い合わせ／妙法寺




⑭大塚古墳 1基

市川西岸に位置する直径約30m高さ約1.7mの円墳です。石室の構造は、横穴式石室で、須恵器(提瓶)が見つかっており、6世紀後半につくられた古墳だと考えられています。市川流域でも古墳の規模が大きいことが、特徴としてあげられます。




⑮イチョウ 1本

七種川にかかる七種橋の東端にたたくみ、季節によって見る人の目を楽しませてくれます。現在は、養生処置を行っており、樹高は以前より低くなっていますが、樹齢は約300年と考えられています。町保存樹の指定も受けています。




⑯法成就講

一般的に「とんど」として知られており、高橋区のもの「法成就講」といわれています。地区の祭祀・親睦等を含めて無病息災・五穀豊穰を祈るものです。開催日/1月2週目の日曜日



⑰石造五如来坐像 5軀

長目区の薬師寺跡にある石造五仏です。台座正面に造立年月日(寛永～貞享)が、背面には村名と施主名が刻まれています。向かって、左側から阿闍如来、阿弥陀如来、大日如来、薬師如来、釈迦如来がならんでいます。一石丸彫りの坐像で、別石の蓮華座に坐ります。江戸時代前期に属する石仏として像容も優れています。




⑱浄舞(熊野神社)

田原地区に伝わる浄舞は、郷社である熊野神社の秋季例大祭本宮で舞が奉納されます。全身が赤い装束で覆われた赤天狗(猿田彦命)が渡御の道筋や斎場をはらい清める役目をします。開催日/体育の日の直前の土日(秋季例大祭本宮)




⑲旧辻川郵便局 1棟

大正12年(1923)に、三木家当主拙二によって建てられた郵便局です。木造2階建ての擬洋風建築です。外壁は下見板張り、1階2階とも上げ下げ窓を造っています。軒先には瑠璃と呼ばれる飾りをつけています。※保存のための解体修理工事を予定しています




⑳三木家住宅 9棟

主屋・副屋・離れ・内蔵・米蔵・酒蔵・角蔵・廐・表門の9棟が県指定文化財。創建当初の姿をよく残した大庄屋遺構です。平成22年からすすめる保存修理工事で、主屋の建築年代が宝永2年(1705)と判明しました。柳田國男や銀の馬車道とのかかわりも深い文化財です。※保存修理工事中




㉑柳田國男生家 1棟

日本民俗学を開拓・確立した柳田國男の生家です。江戸時代中期の建築と考えられ、当時の一般農家を示す好例です。國男は著書『故郷七十年』の中でこの家を「日本一小さい家」といい、「この家の小ささ、という運命から、私の民俗学への志も源を發したといつてよい」と記しています。現在は、記念館西側に移築されています。問い合わせ／柳田國男・松岡家記念館 休館日/月曜・祝日の翌日 12/28～1/4 開館時間/9:00～16:00 入館料/無料




㉒ヤマモモ 2幹木

辻川区の鈴ノ森神社境内、拝殿にむかって右側にある町内最大のヤマモモで、高さは約13m、根回りは約3.3m、町保存樹の指定も受けています。柳田國男が歌にのこすなど、松岡五兄弟と深いかわりがあります。




㉓旧神崎郡役所 1棟

明治19年(1886)、神東・神西郡役所(明治29年に神崎郡役所と改称)として建設され、以後、当地方発展の中心的役割を果たしました。昭和57年に現在地に移築し、神崎郡歴史民俗資料館として開館しました。問い合わせ／神崎郡歴史民俗資料館 休館日/月曜・祝日の翌日、12/28～1/4 開館時間/9:00～16:30 入館料/無料




㉔壺棺(A) 1個

山崎区の通称「七面山」の山麓部分から出土しました。弥生時代後期のものと考えられ、中から幼児のものと考えられる人骨が見つかりました。問い合わせ／神崎郡歴史民俗資料館 休館日/月曜・祝日の翌日、12/28～1/4 開館時間/9:00～16:30 入館料/無料




㉕壺棺(B) 1個

辻川区の辻川山西麓部分から発見されました。弥生時代後期のものと考えられます。問い合わせ／神崎郡歴史民俗資料館 休館日/月曜・祝日の翌日、12/28～1/4 開館時間/9:00～16:30 入館料/無料




㉖つるべ 1個

八反田組の大庄屋であった屋敷跡の井戸から見つかりました。この家は寛延2年(1749)に起こった寛延一揆で打ちつぶしにあいました。つるべは、この時に井戸へ投げ捨てられたものと考えられています。江戸時代の生活用品であり、姫路藩の大規模な一揆との関連を示す歴史資料です。問い合わせ／神崎郡歴史民俗資料館 休館日/月曜・祝日の翌日、12/28～1/4 開館時間/9:00～16:30 入館料/無料




㉗東広畑古墳 1基

6世紀後半につくられたもので、直径約16mの円墳です。銀象嵌装大刀をはじめ、多くの鉄器類や須恵器等が見つかりました。




㉘東新田古墳 1基

通称「つづれ塚」と呼ばれる東新田古墳は、石室の一部しかのこっていませんが、直径16mの円墳だと考えられています。石室の中からは、須恵器等の土器類とともに馬具や鉄鍔等の鉄器類が多く見つかりました。




㉙石造五重塔 1基

神積寺西方の丘上に東面して建ち、慶芳上人の墓と伝えられています。総高241cmの凝灰岩製で、軸部の3面には薬研彫りで種子が刻まれています。無紀年ですが、鎌倉時代中期のものと考えられています。問い合わせ／悟真院




㉚悟真院唐門 1棟

神積寺の院の1つである悟真院の門です。総高4.5mで本瓦葺きです。落ち着きがあり、唐門らしい剛健な風格を見ることが出来ます。江戸時代中期に建てられたものです。問い合わせ／悟真院




㉛石造宝塔(残欠) 1基

暦仁2年(1239)、一石で彫成された基礎と塔身のみが残欠で、笠を失っています。「尺迦仏滅後二千二百年」という、釈迦入滅後の年数が刻まれており、全国でも十数例しかない仏滅紀年塔です。見学は要問い合わせ。問い合わせ／悟真院




㉜木造薬師如来坐像 1軀

神積寺開山である慶芳上人自らが彫り、安置したと伝えられています。神積寺の本尊で、60年に1度開帳される秘仏です。像高88.5cm、作風は温雅このうえなく、この地方の藤原仏を代表するものです。問い合わせ／悟真院 ※非公開




㉝石燈籠 1対

竿の部分に銘文が刻まれており、寄進された年代や理由が刻まれています。銘文から、北山田村(現姫路市)の助左衛門が両親の菩提を弔うために、天和3年(1683)に寄進したことが分かります。紀年銘をもつ石灯籠の中では、神崎郡内で最も古いものです。問い合わせ／悟真院




㉞木造文殊菩薩坐像 1軀

総高51.3cm、端正な表情から、印派仏師(京都の仏師の集団)の作であると考えられています。木像は蓮華座上に坐り、その下には獅子がいます。年代は、南北朝時代の頃と考えられています。神積寺外陣から見学可能。問い合わせ／悟真院




㉟阿弥陀種子板碑 1基

正面に大きく阿弥陀如来の種子「キリク」が薬研掘りで彫られ、種子の下には、銘文が刻まれています。銘文から、弘安9年(1286)に崩御された後堀河天皇の皇后、安喜門院の百か日に建立された供養塔であることがわかります。問い合わせ先/悟真院




㊱追儼(鬼追式)

「修正会」と呼ばれる正月行事の一部で、毎年1月の成人の日に行われます。正を修め、邪を払う意味をもち、神積寺の本尊薬師如来の使者「山の神」と家来の「青鬼」「赤鬼」が邪気を払う所作を行います。鎌倉時代より始められたと伝えられています。問い合わせ／悟真院




㊲妙徳山古墳 1基

神積寺の境内にあり、直径約35mで2段構築の円墳です。全長約12.4mの横穴式石室は、市川流域にある古墳の中でも最大級のものです。出土した遺物から6世紀末ごろにつくられたと考えられています。問い合わせ／悟真院



㊳石造鳥居 1基

鳥居は凝灰岩製で沓石がなく、直接地中に埋めています。各部分が細く、柱に内転がないこと、全体に低いことなどが、古い様式であることを示しています。柱に刻銘があり、慶長16年(1611)につくられたことが分かります。問い合わせ／熊野神社




㊴石橋 1基

岩尾神社前の小川にかかる、反り橋式の石橋です。当初は両側に勾欄があったようで、親柱のさし込み穴が残っています。銘文はみられません。様式から岩尾神社の石造鳥居と同時期につくられたものと考えられています。問い合わせ／熊野神社




㊵岩尾神社本殿 1棟

正暦2年(991)、慶芳上人が神積寺を開基する際に、本神社へ文殊像を合わせまつて鎮守としたと伝えられています。極彩色で、桃山時代の余風を伝え、細部手法もよくその頃の技風を示しています。外陣から見学可能。問い合わせ／熊野神社




㊶石造地藏菩薩立像 1軀

古墳時代の石棺蓋石を利用して地藏菩薩が刻まれたもので、一般的に石棺と呼ばれるものです。無紀年ですが南北朝時代のものと考えられます。像容は、右手に鐲杖、左手に宝珠を持ち、雲座の上に立ちます。台座が蓮華座ではなく、雲座であることは、大変めずらしいものです。




㊷相山古墳 1基

直径約20mの円墳で、たて穴式の埋葬施設がある6世紀前半の古墳と考えられています。町内で唯一埴輪が見つかりました。西大貫区により、埴輪が復元されています。




㊸おかげ燈籠 1基

江戸時代、伊勢神宮への参宮が盛んになり、「おかげ参り」という熱狂的な集団参拝がみられました。この燈籠はおかげ参りに関連して発生した、「おかげ踊り」を記念して建てられた「おかげ踊り燈籠」である点が注目されます。この燈籠の存在は、畿内周辺に流行した「おかげ踊り」が市川流域にまで波及していたことを示しています。



㊹クロガネモチ 1本

嶺雲寺境内にある福崎町内最大のクロガネモチで、高さが13m、目通り幹回りには2.31mの大きさです。町保存樹にも指定されており、雌雄別株で、11月頃になると、たくさんの赤い実がなります。この木は雌木です。




㊺浄舞(余田大蔵神社)

八千種地区に伝わる浄舞は、郷社である余田大蔵神社の秋季例大祭で行われます。田原地区の熊野神社とよく似た舞ですが、舞の途中で獅子がともに舞う点、天狗の腹が膨らんでいる点が異なります。開催日/体育の日の直前の土日(秋季例大祭)



㊻かくしほちよじ

一般的には「とんど」と知られる行事で、毎年鍛冶屋区の家が参加して行われます。「とう」「とうの親」「とうの親の親」等の役割が決められ「ほちよじづくり」「案内廻り」「酒宴と夕食」「ほちよじかくし」「諸神事」「狐追い」「ほちよじ焼き」等の諸行事が行われます。開催日/成人の日の前日～成人の日



【問い合わせ先】
福崎町教育委員会：0790-22-0560(内線257)
柳田國男・松岡家記念館：0790-22-1000
神崎郡歴史民俗資料館：0790-22-5699
福崎町観光協会：0790-22-0560(福崎町役場地域振興課内)
醫王寺：0790-22-4215
應聖寺：0790-22-1077
悟真院：0790-22-0339
金剛城寺：0790-22-0014
妙法寺：0790-22-1088
熊野神社：0790-22-0586
※問い合わせ先の記載がないものについては、福崎町教育委員会 社会教育課文化財係までお問い合わせください。